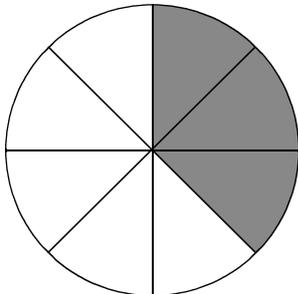




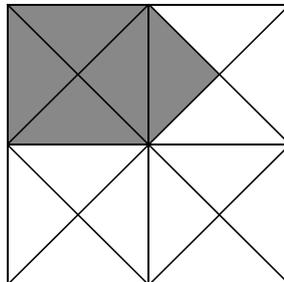
例題 1

色のついた部分はもとの大きさの何分のいくつですか。分数であらわしなさい。

(1)



(2)



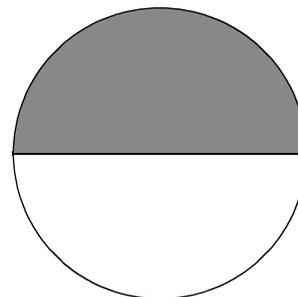
答え (1) $\frac{3}{8}$ (2) $\frac{5}{16}$

[例題 1 の解説]

同じ大きさに分けた数を**分数**といひます。

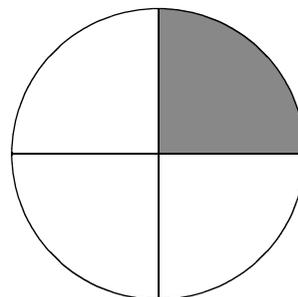
右図のように円を2つに分けたうちの1つを円の「**2分の1**」 $\frac{1}{2}$ といひます。

$\frac{1}{2}$ ← 分子 線より上の数を**分子** (ぶんし) といひます
2 ← 分母 線より下の数を**分母** (ぶんぼ) といひます



このような数を**分数**といひます。

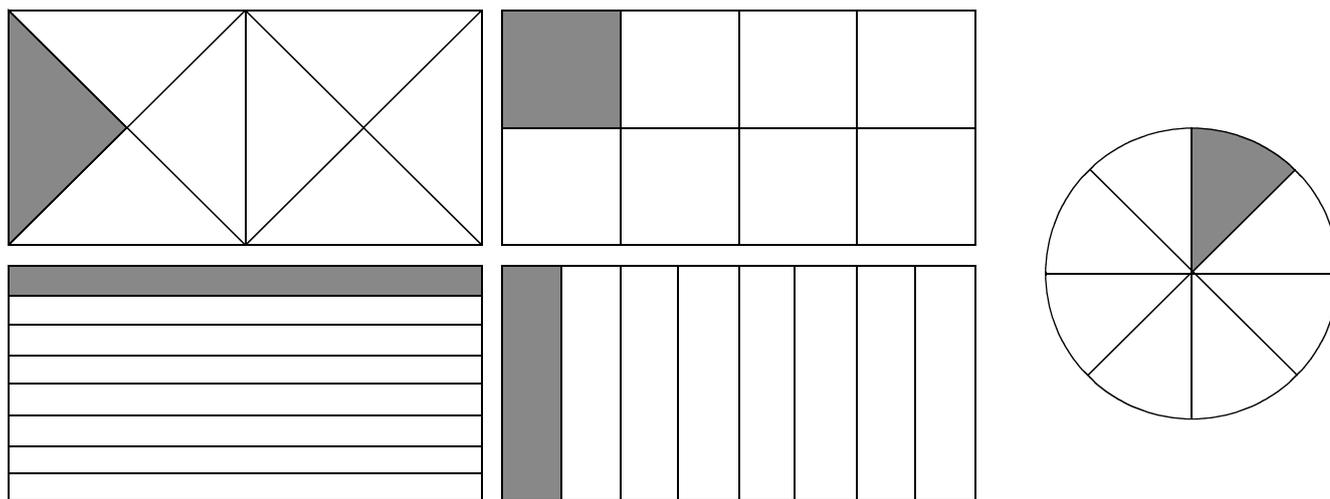
右図の円を4つに分けたうちの1つが円の $\frac{1}{4}$ (4分の1) です。





長方形と円で $\frac{1}{8}$ をあらわすと下図のようになります。

長方形は下のよう^{ぶんぶん}にいくつかの分け方があります。色のついた部分の大きさはすべて同じです。



(1) 8個に分けたうちの3個分なので、 $\frac{3}{8}$

(2) 16個に分けたうちの5個分なので、 $\frac{5}{16}$

ポイントまとめ

- 同じ大きさに分けた数を^{ぶんすう}分数といいます。
- 線より上を分子、線より下を分母といいます。